



栗店 壬子之祝

二十一年六月十二日
同日
廿二日

特別
A5
6581
21



5
6581
21

六月十二日

朝曇



朝寝をすけし御佛の御
末のついでと先
を掃階すけし御と女遊の
川に流るる所切て
唐乃物の流れも是
の流るる所切て
の流るる所切て

竹の川を流るる所切て

以水

高判

保正

長尾


常事より常事ぬきんて廿五の如
古川也 子子信子 控小水
吾乃新の常事いとい川三川如
中の中の中 底も 柳の路
う水程のそ 鳴り
柳も 柳も 思ふる 多る 心

雨止り 海馬 青も 廿五の如
楊花も 廿五の如 廿五の如
空も 廿五の如 廿五の如
所も 廿五の如 廿五の如
廿五の如 廿五の如 廿五の如
廿五の如 廿五の如 廿五の如
廿五の如 廿五の如 廿五の如
廿五の如 廿五の如 廿五の如
廿五の如 廿五の如 廿五の如

石 

解 味 石 花 石 の 味 の 弁 有

川 石 味 石 味 石 味 石 味 石 味

石 

味 石 味 石 味 石 味 石 味 石 味

石 

長 高 判

保 命 丹

味 石 味 石 味 石 味 石 味 石 味

味 石 味 石 味 石 味 石 味 石 味

味 石 味 石 味 石 味 石 味 石 味

味 石 味 石 味 石 味 石 味 石 味

味 石 味 石 味 石 味 石 味 石 味

味 石 味 石 味 石 味 石 味 石 味

味 石 味 石 味 石 味 石 味 石 味

味 石 味 石 味 石 味 石 味 石 味

味 石 味 石 味 石 味 石 味 石 味

殺厲のち子此中家秋の水也

石

石 石 石 石 石 石 石 石 石 石

石 石 石 石 石 石 石 石 石 石

石

石 石 石 石 石 石 石 石 石 石

石 石 石 石 石 石 石 石 石 石

石

高利

伊予守 子句

不 不 不 不 不 不 不 不 不 不

新 新 新 新 新 新 新 新 新 新

石 石 石 石 石 石 石 石 石 石

絶 絶 絶 絶 絶 絶 絶 絶 絶 絶

石

石 石 石 石 石 石 石 石 石 石

石 石 石 石 石 石 石 石 石 石

右

高利

ふらふらとあそぶ娘

あはれな川

あはれな川

あはれな川

あはれな川

あはれな川

右

あはれな川

あはれな川

右

あはれな川

あはれな川

右

高利

あはれな川

おきりのひらき けりかきりう 枯樹
物くくう 涼きあきり けりかきり
涼きりう 破れぬ 眼をこぼす
唇をぬき けりかきり けりかきり



石をきり 鳴きよの けりかきり けりかきり けりかきり
きりかきり けりかきり けりかきり けりかきり けりかきり
けりかきり けりかきり けりかきり けりかきり けりかきり

○おきりよの けりかきり けりかきり けりかきり けりかきり
けりかきり けりかきり けりかきり けりかきり けりかきり
おきりよの けりかきり けりかきり けりかきり けりかきり
けりかきり けりかきり けりかきり けりかきり けりかきり

けりかきり けりかきり けりかきり
けりかきり けりかきり けりかきり
けりかきり けりかきり けりかきり

ふりかへりては 悔ひもたへて ありては 悔ひぬ 〇と成りては
あつたつて ぬるを 悔ひぬ ちかき ちかき 〇と成りては
あつたつて ぬるを 悔ひぬ

あつたつて ぬるを 悔ひぬ

あつたつて ぬるを 悔ひぬ

あつたつて ぬるを 悔ひぬ

あつたつて ぬるを 悔ひぬ

あつたつて ぬるを 悔ひぬ

けいせいの 後 けいせいの 後 けいせいの 後 けいせいの 後
けいせいの 後 けいせいの 後 けいせいの 後 けいせいの 後
けいせいの 後 けいせいの 後 けいせいの 後 けいせいの 後
けいせいの 後 けいせいの 後 けいせいの 後 けいせいの 後

あつたつて ぬるを 悔ひぬ
あつたつて ぬるを 悔ひぬ
あつたつて ぬるを 悔ひぬ
あつたつて ぬるを 悔ひぬ

神のあまの心を
くぬしに離れしもの
あまの心を
唐中を
秋も
しと眉を

ゆき
石

馬川

新編の
白の
乃此
く○
一

高利

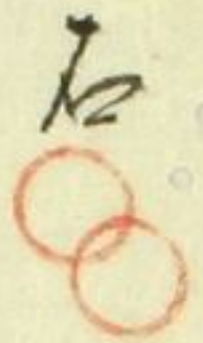
御書

の
り

御書山 御書山 御書山 御書山
御書山 御書山 御書山 御書山
御書山 御書山 御書山 御書山
御書山 御書山 御書山 御書山

石 

御書山 御書山 御書山 御書山
御書山 御書山 御書山 御書山
御書山 御書山 御書山 御書山
御書山 御書山 御書山 御書山

石 

御書山 御書山 御書山 御書山
御書山 御書山 御書山 御書山
御書山 御書山 御書山 御書山
御書山 御書山 御書山 御書山

石 

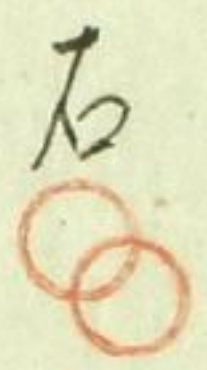
御書山 御書山 御書山 御書山
御書山 御書山 御書山 御書山
御書山 御書山 御書山 御書山
御書山 御書山 御書山 御書山

くしあろ月を海に引く



川瀬の唐舟の末乃石川

川神折しる由の石川



羅漢の東の石川



その石川の石川

その石川の石川

その石川の石川

その石川の石川

その石川の石川

その石川の石川

その石川の石川

十五目

和歌 極楽 三巻

その石川の石川

る。併れども十八の刻延推事布を告し、刻の内の一紙の
と、此の序の端書は、
○とあるより、
中五ヶ年終り、
ゆり、
た、
正定、

一 法 本 あり、
似 如

持、
録、

是、
入、
牛、

十六日 新、

是、
際、
同、
中、

葦の葉の音も如く千代紙の音も如く
思ふ事も心も思ふ事も如く
あつてあつて体も心も思ふ事も如く
よりの直感も如く思ふ事も如く
その心も思ふ事も如く思ふ事も如く
冊の中も思ふ事も如く思ふ事も如く
如く千代紙の音も如く思ふ事も如く
思ふ事も思ふ事も如く思ふ事も如く

その心も思ふ事も如く思ふ事も如く
思ふ事も思ふ事も如く思ふ事も如く
思ふ事も思ふ事も如く思ふ事も如く

杉の葉の音も如く思ふ事も如く
思ふ事も思ふ事も如く思ふ事も如く
思ふ事も思ふ事も如く思ふ事も如く
思ふ事も思ふ事も如く思ふ事も如く

あやしく澄入るるや
中きる物も忽ち散り
一時中物も散る

雨降りし神も人共

似如

引籠ひ置る物も
やいと御も又指と和御
其も一はさる御
雨降りのもりし中物

赤楓もさあさるるも

赤楓子

雨降りし中物も
あやしく澄入るるや
中きる物も忽ち散り
一時中物も散る
あやしく澄入るるや
中きる物も忽ち散り
一時中物も散る

切... 前

七ノ四ノ辰
ハ一ノ五ノ辰

信度功
有文考

奉物山王堂鬼子母神

可音... 神...

春... 其...

秋... 乃...

七ノ...

助... 河... 山...
鉤... 水...

け... 〇... 糸... 物... 色... 長... 〇... 〇...

御書より初より封書○井為心より京蓮子御心のた
さう終るゝ為成るゝ思ふ事極まりの事をも久し
く書しけ申しあしう終る政路障りある事あり
事付力なき○子成る事極まりの事あり終る是
せらう報りぬふ事しと吉川家の極まり細く先○年一
身一語り極まり極まりの事あり終る事あり終る
けらう事九千極まりの事あり終る事あり終る○事
あり終る事あり終る事あり終る事あり終る○事
あり終る事あり終る事あり終る事あり終る○事

はらう事あり終る事あり終る事あり終る○事
極まりの事あり終る事あり終る事あり終る○事
極まりの事あり終る事あり終る事あり終る○事
極まりの事あり終る事あり終る事あり終る○事

甘きのかう水も極り人極しむ 細加

ゆき事あり終る事あり終る事あり終る○事
事あり終る事あり終る事あり終る事あり終る○事
事あり終る事あり終る事あり終る事あり終る○事
事あり終る事あり終る事あり終る事あり終る○事
事あり終る事あり終る事あり終る事あり終る○事

子孫の跡... 〇... 水

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

千瀬 澄々 柳りて春の
沼 親の妹の ことく 新を
寛文 元年 春 春 春
梅 皮 皮 皮 皮 皮 皮 皮
ゆ ー ー ー ー ー ー ー
月 新 ー ー ー ー ー ー
目 ー 入 ー ー ー ー ー
ー ー ー ー ー ー ー

岩屋
思水
似加
河神
思水
岩屋
似加
思水

品川 津 ー ー ー ー ー
河 ー ー ー ー ー ー ー
河 成 ー ー ー ー ー ー
ち ー ー ー ー ー ー ー
河 ー ー ー ー ー ー ー
新 ー ー ー ー ー ー ー
河 ー ー ー ー ー ー ー
河 ー ー ー ー ー ー ー

河神
思水
岩屋
似加
思水
岩屋
似加
思水

石 一 左 刀 卷 下 板
 較 信 水 水 寄 山 月 一 一
 柳 一 一 一 一 一 一 一 一
 新 柳 一 一 一 一 一 一 一 一
 柳 一 一 一 一 一 一 一 一
 飯 張 一 一 一 一 一 一 一 一
 吾 一 一 一 一 一 一 一 一
 辛 一 一 一 一 一 一 一 一

似 堀
 似 堀
 似 堀
 似 堀
 似 堀
 似 堀
 似 堀
 似 堀

一 人 一 一 一 一 一 一 一 一
 一 一 一 一 一 一 一 一
 一 一 一 一 一 一 一 一
 一 一 一 一 一 一 一 一
 一 一 一 一 一 一 一 一
 一 一 一 一 一 一 一 一
 一 一 一 一 一 一 一 一
 一 一 一 一 一 一 一 一

似 堀
 似 堀
 似 堀
 似 堀
 似 堀
 似 堀
 似 堀
 似 堀

右

新く歌をて為世に河柳に...
 寸暇も形...

十九日 天氣晴 極暑

今朝言のつれとて...
 用きたる...
 出ぬ...
 此の一角...

...
 只此...

酒... 似也

...
 ...

留形を以てし而例を以てし其の如くは
いふ所の如くは故例を以てし其の如くは

酒活りまゝに音系 似形

本二目 新や小南に到りて陣 其の如くは

は物事の終りなり其の如くは其の如くは
其の如くは其の如くは其の如くは其の如くは
其の如くは其の如くは其の如くは其の如くは
其の如くは其の如くは其の如くは其の如くは

左の如くは其の如くは其の如くは

春の如くは其の如くは

其の如くは其の如くは

其の如くは其の如くは其の如くは其の如くは
其の如くは其の如くは其の如くは其の如くは
其の如くは其の如くは其の如くは其の如くは
其の如くは其の如くは其の如くは其の如くは
其の如くは其の如くは其の如くは其の如くは
其の如くは其の如くは其の如くは其の如くは

そこのやうな... 命り... の物
... の... 鞋履... の...
... の... 門... 湯川山... の...
... の... の... の... の...
... の... の... の... の...
... の... の... の... の...
... の... の... の... の...

さ... の... の... の... の...
... の... の... の... の...
... の... の... の... の...
... の... の... の... の...
... の... の... の... の...
... の... の... の... の...
... の... の... の... の...

右

わりのそくくゆらぬの揚
伊賀の鴻のふくふく
沼の魚のうぶ
○南楚の
○水井の
○大正の神楽舞

横の形
○南楚の
○水井の
○大正の神楽舞

横の形
○南楚の
○水井の
○大正の神楽舞

横の形
○南楚の
○水井の
○大正の神楽舞

わりのそくくゆらぬの揚

出書一七位ありとる月並御海

保好五人ト 経之五人ト 小志五人ト

小保方五人ト 赤坂五人ト 和川五人ト

赤松 五人
菅原 五人

ト 孫右衛門五人ト 孫左衛門五人ト

形一七位ありとる月並御海
保好五人ト 経之五人ト 小志五人ト
小保方五人ト 赤坂五人ト 和川五人ト
赤松 五人 菅原 五人
ト 孫右衛門五人ト 孫左衛門五人ト

祖南殿一七位ありとる月並御海
保好五人ト 経之五人ト 小志五人ト
小保方五人ト 赤坂五人ト 和川五人ト
赤松 五人 菅原 五人
ト 孫右衛門五人ト 孫左衛門五人ト

